

MS&ADインシュアランスグループについて

MS&ADインシュアランスグループは、「世界トップ水準の保険・金融グループの創造」を掲げ、2010年に誕生した保険グループです。グループの中核事業である国内損害保険事業において、三井住友海上火災保険株式会社は、三井・住友両グループの営業基盤や国内外における幅広い事業展開力、一方のあいおいニッセイ同和損害保険株式会社は、トヨタ・日本生命グループのネットワークと地域に密着したリテールマーケット開拓力という強みを有しています。また、国内損害保険事業に加え、国内生命保険事業、海外事業、金融サービス事業、リスク関連サービス事業の5つのドメインで、グローバルに事業展開しており、2018年のフォーチュングローバル500の損害保険カテゴリーの収入ランキングでは、第7位にランクされています。



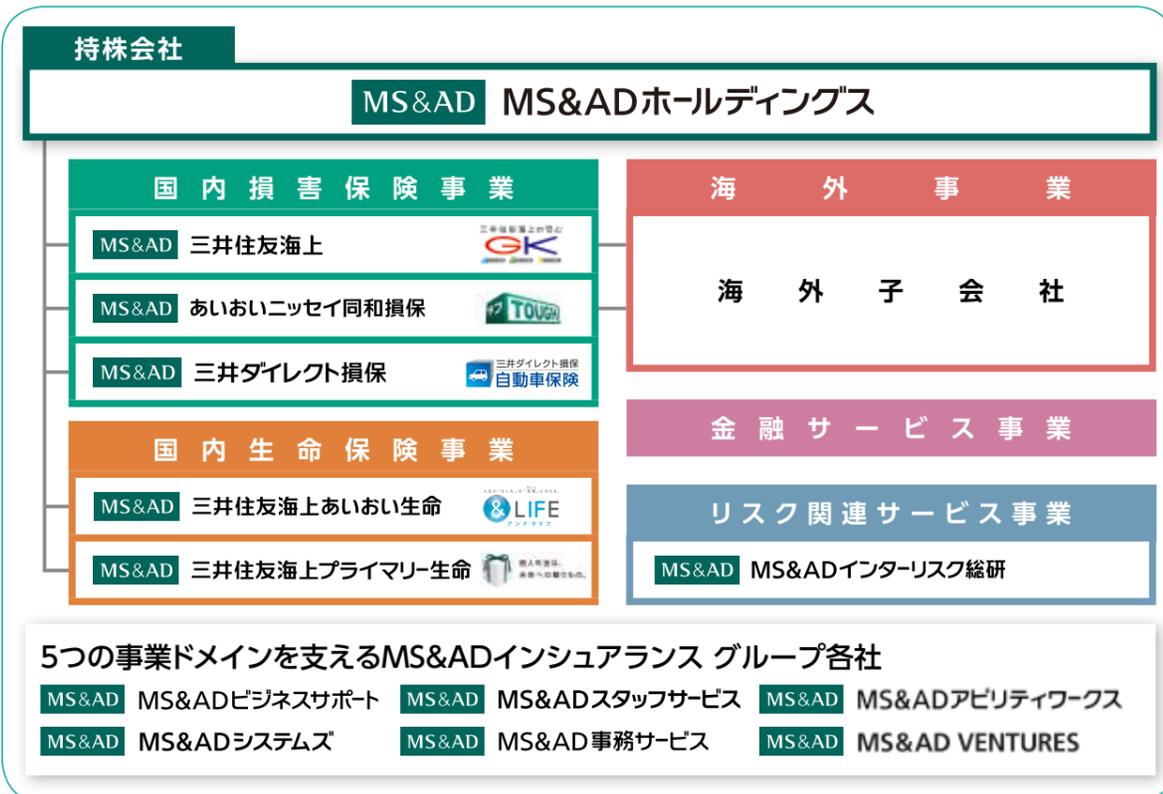
MS&ADホールディングスが入る東京住友ツインビルディング

2018年度より開始した中期経営計画「Vision 2021 (2018年～2021年)」では、「世界トップ水準の保険・金融グループ」の実現を見据え、環境変化に対応できるレジリエントな態勢を構築する上で、「グループ総合力の発揮」「デジタルイノベーションの推進」「ポートフォリオ変革」を3つの重点戦略として位置付けています。また、ERMサイクルをグループ経営のベースとして、健全性の確保を前提に収益力と資本効率の向上のための取組みを強化していきます。

当社グループのミッションである「安心と安全を提供し、活力ある社会の発展と地球の健やかな未来を支える」上で、企業活動の軸にあるのが「価値創造ストーリー」です。この「価値創造ストーリー」とは、社会的課題の解決につながるさまざまな商品・サービスを提供し、お客さまが安心して生活や事業活動を行うための環境を作り上げることです。どの時代においても、社会に求め続けられる存在であるために、「価値創造ストーリー」を軸に本来の強みである多様性とその総合力を活かし、ステークホルダーの皆さまとともに歩んでいきます。

グループの構成

(2019年4月1日現在)



MS&ADインシュアランスグループの目指す姿

MS&ADインシュアランスグループの目指す企業グループ像を明確にするため、経営理念(ミッション)、経営ビジョン、行動指針(バリュー)を次のとおり定めています。

経営理念(ミッション)

グローバルな保険・金融サービス事業を通じて、安心と安全を提供し、活力ある社会の発展と地球の健やかな未来を支えます

経営ビジョン

持続的成長と企業価値向上を追い続ける世界トップ水準の保険・金融グループを創造します

行動指針(バリュー)

お客さま第一	CUSTOMER FOCUS カスタマー・フォーカス	わたしたちは、常にお客さまの安心と満足のために、行動します
誠実	INTEGRITY インテグリティ	わたしたちは、あらゆる場面で、あらゆる人に、誠実、親切、公平・公正に接します
チームワーク	TEAMWORK チームワーク	わたしたちは、お互いの個性と意見を尊重し、知識とアイデアを共有して、ともに成長します
革新	INNOVATION イノベーション	わたしたちは、ステークホルダーの声に耳を傾け、絶えず自分の仕事を見直します
プロフェッショナリズム	PROFESSIONALISM プロフェッショナリズム	わたしたちは、自らを磨き続け、常に高い品質のサービスを提供します

MS&ADインシュアランスグループの目指す社会像

MS&ADインシュアランスグループは「グローバルな保険・金融サービス事業を通じて、安心と安全を提供し、活力ある社会の発展と地球の健やかな未来を支えます。」という経営理念のもと、価値創造ストーリーを紡いで発展してきました。

2018年度にスタートしたグループ中期経営計画「Vision 2021」では、当社グループが2030年に目指す社会像として「レジリエント^(※1)でサステナブルな社会」を掲げています。その実現に向けて、SDGs^(※2)を道標(みちしるべ)とし、社会との共通価値創造(CSV: Creating Shared Value)に取り組み、世界トップ水準の保険・金融グループを目指します。

(※1) 変化する状況や予期せぬ出来事に対して、柔軟かつ上手に適応し、影響を低減し、迅速に回復する力があること。
(※2) 持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)。2015年9月「国連持続可能な開発サミット」で採択された持続可能な世界に向けた2030年までのグローバルな目標。17の目標と169のターゲットから構成されています。



MS&ADインシュアランスグループの価値創造ストーリー

MS&ADインシュアランスグループは、国内損害保険事業、国内生命保険事業、海外事業、金融サービス事業、リスク関連サービス事業の5つの事業ドメインで、グループのミッションの実現に向けた活動を展開しています。

「私たちの目指す『活力ある社会の発展と地球の健やかな未来』を支えるために、それを阻害する社会的課題から生じる多様なリスクをいち早く見つけ、お伝えし、リスクの発現を防ぎ、リスクの影響を小さくするとともに、リスクが現実となったときの経済的負担を小さくするためのさまざまな商品・サービスを提供することで、世界中のチャレンジするお客さまが安心して生活や事業活動を行うことのできる環境づくりを行う」、これが私たちの価値創造ストーリーです。

MS&ADを支える資源

財務資本

- お客さまのリスクを引き受けるのに十分かつ健全な財務基盤

連結純資産(2019年3月31日現在) **2兆7,780**億円

人的資本

- グローバルで多様な人財
- 保険・リスク関連等の知識に精通したプロフェッショナルな人財

連結従業員数(2019年3月31日現在) **41,467**名

知的資本

- 事業の長い歴史と経験に支えられた知見と信用力
- 国内・ASEANで最も豊富なリスクデータ

リスクサーベイ実施回数(2018年度実績) **1,140**件

社会・関係資本

- 国内No.1の規模を誇る顧客層

国内個人お客さま数^{※1} 約**4,200**万人
国内法人お客さま数^{※1} 約**240**万社

- ASEAN域内**No.1**の総収入保険料

国内No.1の代理店ネットワーク
国内損害保険代理店数^{※1} **86,222**店

国内営業拠点^{※2} **261**部支店・**1,016**課支社
国内事故対応拠点^{※3} **428**カ所

- 海外拠点等^{※4} **49**カ国・地域

- トヨタグループ、日本生命グループ、三井グループ、住友グループなど、異業種のトップ企業とのパートナーシップ

自然資本

- 地球の安定した気候システム
- 生物多様性が保全された生態系
- 持続可能な自然資源

紙使用量 **10,545**トン

※1 三井住友海上、あいおいニッセイ同和損保のお客さま数、代理店数の単純合算値(2019年3月31日現在)
※2 国内保険会社の拠点数の単純合算値(2019年4月1日現在)
※3 国内損害保険会社の事故対応拠点の単純合算値(2019年4月1日現在)
※4 SLI Cayman Limited(金融サービス事業)があるケイマン諸島を含む(2019年4月1日現在)

MS&ADの強み

スケール

規模によって十分なキャパシティを実現

歴史

過去の経験と学びは将来の糧

多様性

多様性から生まれる創造力と結束力

イノベーション

時流を捉えて成長を実現

サステナビリティ

常に社会とともに

活力ある社会の発展と地球の健やかな未来

社会的課題

社会を取り巻く多様なリスク

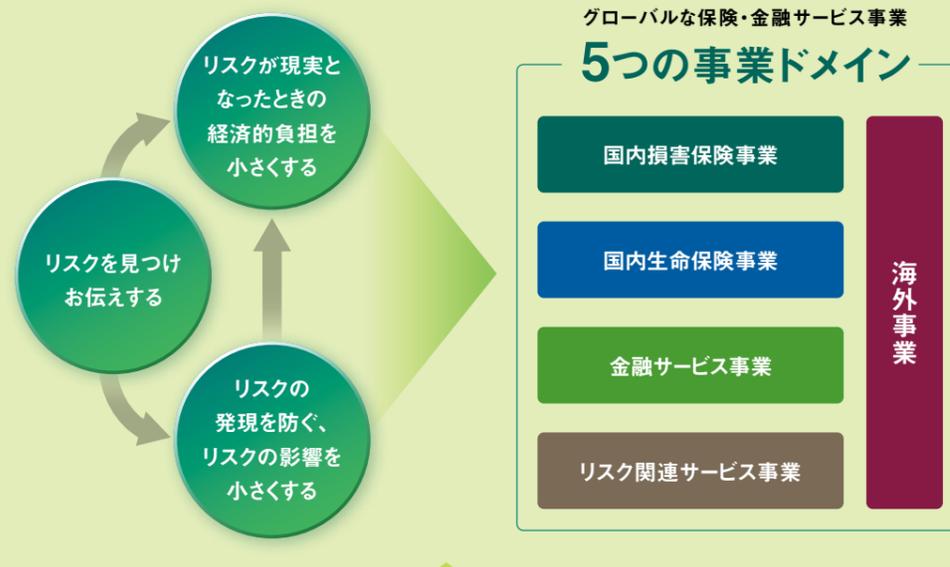
- 1 多様化・甚大化する事故・災害
- 2 限界に近づく地球環境(気候変動や資源枯渇等)
- 3 高齢化に伴う介護・医療の負担増
- 4 格差拡大等による社会の活力低下

レジリエントでサステナブルな社会

安定した人々の生活
活発な事業活動

安心・安全の提供

MS&ADのビジネスモデル



企業価値創造を支える仕組み

- 環境変化に対応できるレジリエントな態勢
- 最適な資源配分とリスクの適切な管理
- 社員がいきいきと活躍できる経営基盤と品質向上
- コーポレートガバナンスの強化

ステークホルダーとともに創出する価値(2018年度実績)

お客さま	株主	代理店	取引先	社員	環境	地域社会・国際社会
------	----	-----	-----	----	----	-----------

財務資本

- 資本効率の向上
 - グループ修正利益の向上
 - 株主還元
- グループ修正利益 **1,898**億円
グループ修正ROE **6.1%**
過去5年間のTSR[※] **65.6%**

人的資本

- さらに働きがいを実感し、成長できる職場環境の提供
 - 安定し、かつ、ワーク・ライフ・バランスにも配慮した雇用
- 社員満足度^{※1} **4.4**ポイント
有給休暇取得日数^{※2} **15.6**日

※1 社員が「誇り、働きがい」を持って働いていると感じている割合(社員意識調査結果。6ポイントが満点での社員平均ポイント)
※2 [定例・繰越休暇]と[特別休暇]の社員平均取得日数

知的資本

- 専門性の高い社員の育成
- 変化する多様なお客さまニーズにお応えする商品・サービスの提供
- リスク関連の調査研究成果の社会への提供

調査レポート^{※1} **78**件
アクチュアリー人数^{※2} **103**人

※1 CSR、企業リスク、BCM、労災リスク、交通リスク、海外危機管理情報、感染症情報などのレポートを発行
※2 商品開発、リスク管理、財務の健全性確認等に確率・統計等の手法を駆使する数理のプロフェッショナルである社員の在籍数(2019年4月1日時点)

社会・関係資本

- 適切かつ迅速な保険金の支払い
- 事故・災害を未然に防ぐサービスの提供
- 高品質かつ多様な代理店ネットワークの提供
- 取引先との協力関係による社会的責任の遂行
- 社会インフラや行政サービス等の社会資本をリスクから守る商品・サービスの提供

保険金支払額^{※1} **2兆5,281**億円
お客さま満足度^{※2} **96.6%**

※1 正味支払保険金と生命保険金等の合算値(2018年度)
※2 自動車保険の事故対応に満足しているお客さまの割合(対象:三井住友海上、あいおいニッセイ同和損保)(2018年度)

自然資本

- 気候変動の進行緩和につながるCO₂排出量削減
- 生物多様性の保全への貢献
- 持続可能な自然資源の利活用につながる負荷削減

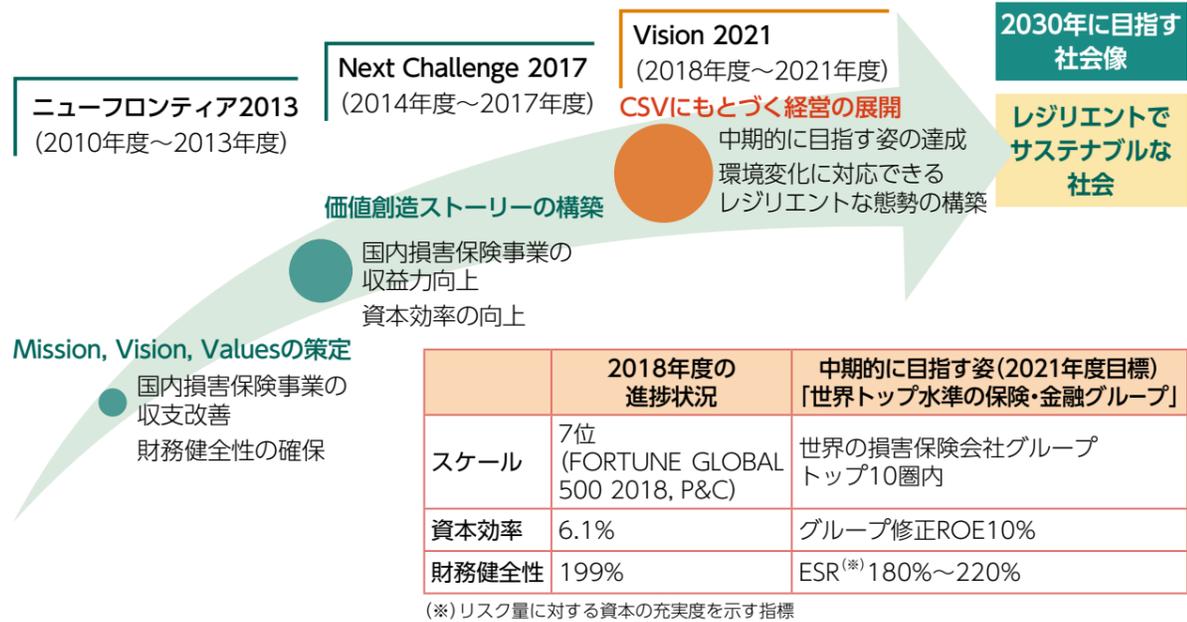
対前年度紙削減量 **540**トン
社会貢献活動参加社員数[※] **23,601**人

※会社または個人でボランティア活動へ参加したり、寄付を行ったりした社員数(国内)

グループ中期経営計画「Vision 2021」

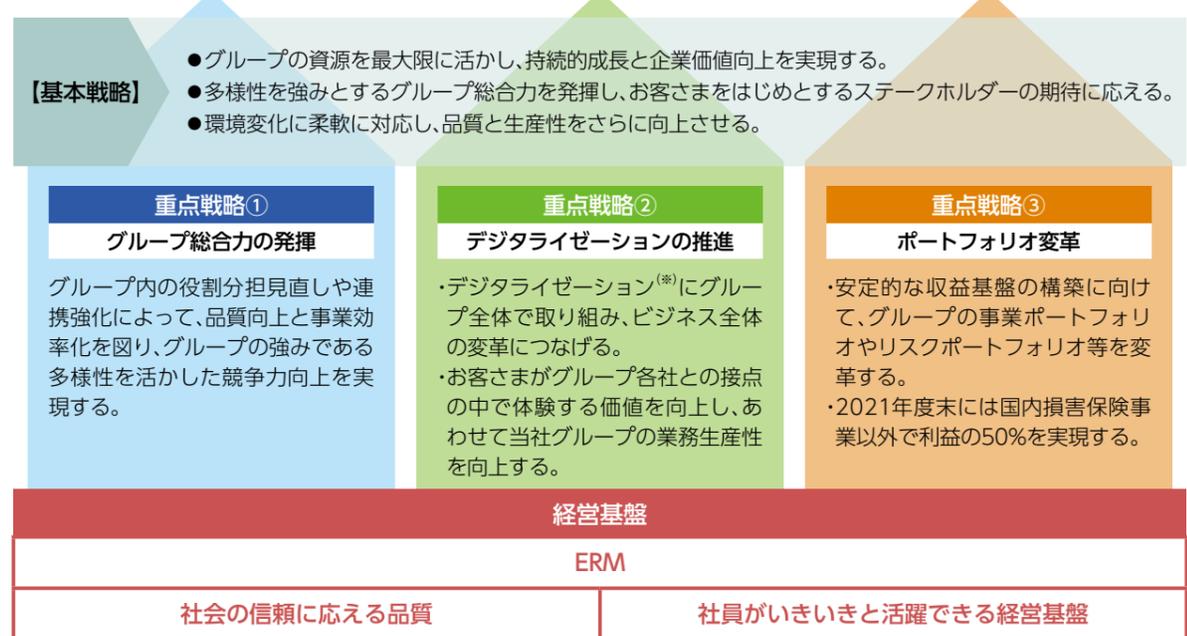
新中期経営計画「Vision 2021」では、当社グループが2030年に目指す社会像である「レジリエントでサステナブルな社会」を掲げ、当社グループの強みを活かしながら、企業価値向上に向けた取組みと持続的な成長を支える枠組み、そして、達成すべき経営数値目標を明確にしています。グループ誕生以来、中期的に目指す姿としてきた「世界トップ水準の保険・金融グループ」の実現に向け、環境変化に迅速に対応できるレジリエントな態勢の構築を目指します。

「Vision 2021」の計画期間中に実現したい姿



「Vision 2021」基本戦略と3つの重点戦略

基本戦略とそれにひもづく「3つの重点戦略」により、上記の実現したい姿への到達を図ります。



(※) デジタル技術によるプロセス・サービス等の効率化・利便性向上にとどまらず、当社グループのビジネス全体の変革につなげる取組み

経営指標

2021年度の経営数値目標は「中期的に目指す姿」を達成する水準に設定しています。また、サステナビリティ中期経営計画を策定し、非財務指標もモニタリングしていきます。

	経営数値目標 (単位:億円)				非財務指標(例)	
	2017年度実績 (新基準換算)	2018年度実績	2019年度予想	2021年度目標	モニタリング指標	
グループ修正利益	2,010	1,898	2,630	3,500	社会との共通価値の創造	7つの重点課題を定め、定性的に確認する。
国内損害保険事業 (除く政策株式売却損益)	2,878 (2,024)	1,469 (651)	1,860 (1,500)	1,820 (1,420)	社会の信頼に応える品質	品質向上 ・お客さま満足度
国内生命保険事業	326	316	290	450		環境負荷低減 ・CO ₂ 排出量削減率 ・総エネルギー使用量 ・紙使用量
海外事業	△1,250	54	420	1,170	社員がいきいきと活躍できる経営基盤	ダイバーシティ&インクルージョン ・女性管理職比率 ・グローバル従業員数・比率 ・障がい者雇用率
金融サービス事業/ リスク関連サービス事業	56	58	60	60		健康経営 ・社員満足度 ・有給休暇取得日数 ・社会貢献活動参加社員数
グループ修正ROE	6.4%	6.1%	8.7%	10.0%		
当期純利益	1,540	1,927	2,000	—		
連結正味収入保険料	34,469	35,004	35,240	37,100		
生命保険料 (グロス収入保険料)	15,081	15,999	15,250	16,000		
三井住友海上あいおい生命EEV ^(※) (European Embedded Value)	8,355	8,194	9,270	10,500		
ESR (Economic Solvency Ratio)	211%	199%	—	180%～220%		

(※) 現在の純資産価値に保有契約が生み出す利益を加えた、生命保険会社の企業価値を表す指標の1つ

$$\text{グループ修正ROE} = \frac{\text{グループ修正利益}}{\text{修正純資産(期初・期末平均)}} = \frac{\text{連結当期利益} + \text{異常危険準備金等^(※2)繰入^(※3)額}{\text{連結純資産^(※1) + \text{異常危険準備金等^(※2)}} - \frac{\text{その他特殊要因(のれん・その他無形固定資産償却額等)}}{\text{のれん・その他無形固定資産}} + \text{非連結グループ会社持分利益}$$

※各調整額は税引後、(※1) 除く非支配株主持分・新株予約権、(※2) 国内損害保険事業および三井住友海上あいおい生命の異常危険準備金・危険準備金・価格変動準備金、(※3) 戻入の場合は減算

MS&ADインシュアランスグループのビジネスモデルとSDGs

2030年に目指す社会像「レジリエントでサステナブルな社会」は、先進国・途上国の政府をはじめ、民間企業やNGOなどが実現に向けた取組みを進めているSDGs(持続可能な開発目標)が目指す社会とも合致します。ビジネスモデルである価値創造ストーリーを実践し、社会との共通価値を創造することでSDGsの達成にも貢献します。

